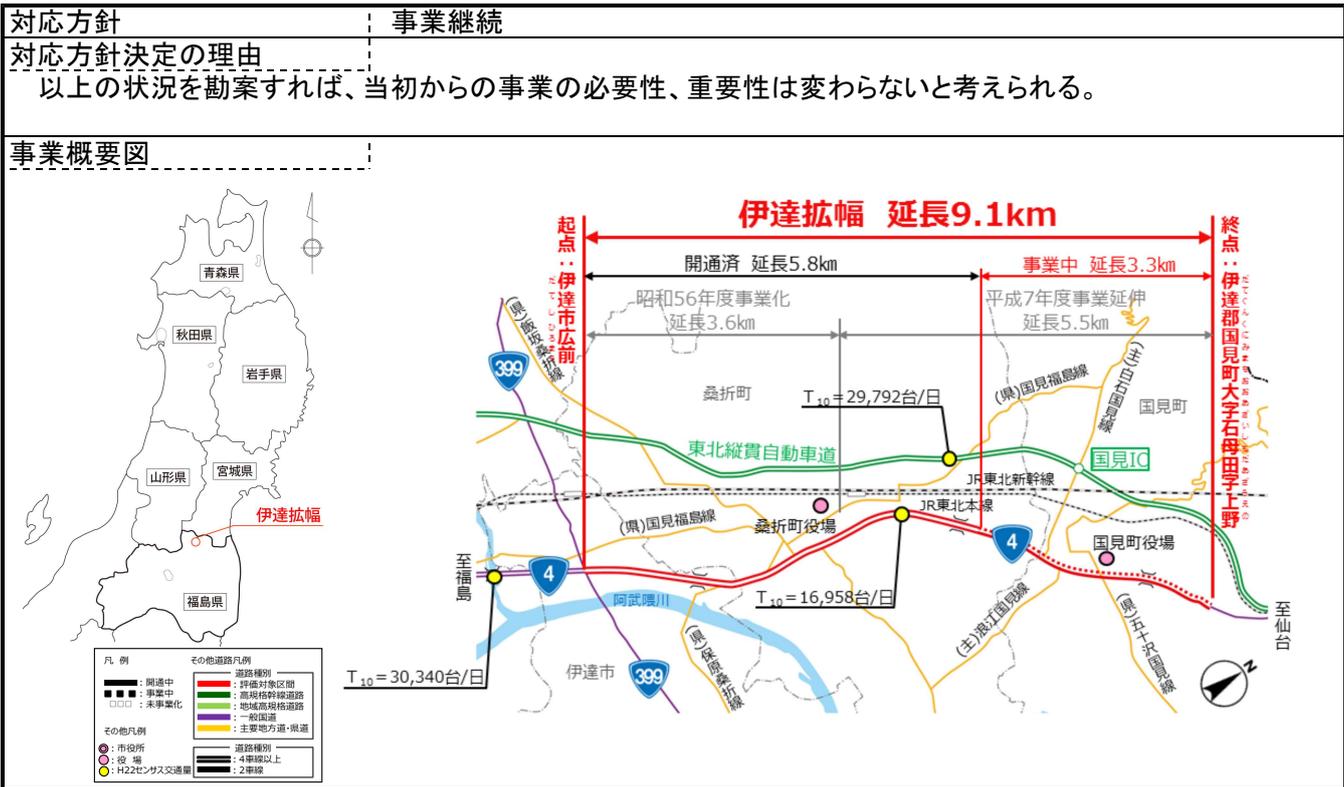


再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道4号 伊達拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県伊達市広前 至：福島県伊達郡国見町大字石母田字上野			延長	9.1 km	
事業概要						
<p>一般国道4号は、東京都中央区から青森県青森市に至る888.8kmの主要幹線道路である。</p> <p>伊達拡幅は、福島県伊達市広前から福島県伊達郡国見町大字石母田字上野に至る延長9.1km、4車線の道路である。</p>						
S56年度事業化		S56年度都市計画決定 (H-1年度変更)		S57年度用地着手		S61年度工事着手
全体事業費	約198億円		事業進捗率	81%	供用済延長	5.8 km
計画交通量	22,000台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.9	総費用	(残事業)/ 事業全体 57億円/320億円	総便益	(残事業)/ 事業全体 120億円/600億円
	(残事業)	2.1	事業費 維持管理費	44億円/286億円 12億円/34億円	走行時間短縮便益 走行経費減少便益 交通事故減少便益	113億円/576億円 6.7億円/19億円 0.74億円/4.8億円
<p>感度分析の結果</p> <p>【全体事業】 交通量変動：B/C=1.8~2.0(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=1.8~1.9(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=1.8~1.9(事業期間 ±1年)</p> <p>【残事業】 B/C=1.9~2.4(交通量 ±10%) B/C=2.0~2.3(事業費 ±10%) B/C=2.0~2.2(事業期間 ±1年)</p>						
<p>事業の効果等</p> <p>①円滑なモビリティの確保 ・現道(国道4号)における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。</p> <p>④個性ある地域の形成 ・(仮称)道の駅国見に直結する道路が形成される。</p> <p>⑥災害への備え ・現道(国道4号)は第一次緊急輸送道路として位置づけられている。 ・緊急輸送道路(東北縦貫自動車道)が通行止めになった場合の代替路を形成する。</p>						
<p>関係する地方公共団体等の意見</p> <p>○福島県知事の意見 国の対応方針(原案)については、異議ありません。なお、東日本大震災からの復興を支援するため、早期完成に努めてください。</p> <p>○以下の団体から、伊達拡幅の整備促進について要望あり ・福島県知事、福島県伊達地方町村議会議長会(川俣町、桑折町、国見町)</p>						
<p>事業評価監視委員会の意見</p> <p>対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。</p>						
<p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</p> <p>この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。</p>						
<p>事業の進捗状況、残事業の内容等</p> <p>・昭和56年事業化、用地進捗率89%、事業進捗率81%(平成27年3月末時点) ・平成23年まで：伊達市広前~伊達郡桑折町大字北半田間 延長5.8km 部分開通済み</p>						
<p>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</p> <p>・事業進捗に係る問題はない。</p>						
<p>施設の構造や工法の変更等</p> <p>・橋梁支承に新技術(高支圧ゴム支承)を採用</p>						



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。